

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 55 号

Physical Activity and Low Back Pain: Cross-sectional study of Japanese male workers

(身体活動量と腰痛の関連：首都圏に勤務する日本人男性を対象にした横断研究)

橋本 有子 (はしもと ゆうこ)

博士 (スポーツ健康科学)

論文審査結果の要旨

本論文は、日本人男性労働者を対象に、身体活動量を客観的に評価する加速度計を用いて、身体活動量と腰痛の関係性の有無を明らかにしており、スポーツ健康科学研究において意義ある論文である。

日本人男性労働者約 4,022 人 (18~66 歳、平均 47 歳) を対象に、身長、体重、飲酒、喫煙習慣、生活習慣病 (質問紙)、身体活動量、歩数 (加速度計)、そして腰痛 (質問紙) の横断調査を行った。先行研究による身体活動量の測定方法は質問紙が多く主観的であるため、客観的指標である加速度計を用いたことは本研究の大きな特色である。測定方法は既に信頼性・妥当性が確認されている 1 日 10 時間以上 7 日以上のデータより一人当たりの 1 日の活動時間 (分) を算出している。また統計処理に関しても大規模疫学研究の手法および先行研究に基づいており、妥当性が認められる。

横断研究のため、身体活動量と腰痛の間の因果関係は明確にできないが、日本人を対象に加速度計による身体活動量と腰痛との関連を大規模調査した研究であり、健康科学分野にとって重要な研究と言える。

本研究では独創性と新規性が認められ、研究デザインや分析・解析方法においても適切であると判断できる。結果の解釈についても論理的な展開がなされており、博士 (スポーツ健康科学) の学位を授与するに相応しい学識と研究遂行能力を備えていることを認め、学位授与を可とする。

なお、学位申請者は当該論文に加え、関連する 2 つの研究について論文執筆を行い、1 本は受理済、もう 1 本は査読中 (3 revisions) である。また、**The 22nd Shizuoka Forum on Health and Longevity** にてポスター優秀賞を獲得していることから国際的に研究能力が認められていることを申し添える。

よって、本論文は博士 (スポーツ健康科学) の学位を授与するに値するものと判定した。